

ある日買物に出かけるとお尻に大きな大きなひよこ柄ついたパンツを発見。お世辞でも可愛いとは言えない、迫力あるひよこ柄だった。

「さすがにいい大人がこのパンツを履くのは恥ずかしいな。でもこれを私が履いてたら、きっと孫たちは喜ぶだろうな〜」

っと孫達の大笑いする姿を思い浮かべながらそのままレジへ。柄にもなく買ってしまった。

さすがに娘にはひよこのパンツを履いてる姿なんて恥ずかしくて見せられないっと思い、娘が不在の日にズボンの下に仕込むことにした。

ついに決行の日

「Aちゃん、Sくん、見てみて〜!!」と2人の目の前にお尻を出し、勢いよくズボンを「えーい!!」と下げてみた。

2人の目の前には、私の大きなひよこのパンツがどーん!

「ゲラゲラゲラ〜おばあちゃんのパンツ、ひよこだー!!ひよこー!!大きなひよこー!!」

っとわっはっは〜っと大笑い!

これよ!これ!私が待ってたのは!!孫たちがお腹を抱えて大笑いするこの姿♪

サッとズボンを履くと

「おばあちゃん、もう一回見せてー見せてー」

っとせがむ孫達。

私はもちろん♪っとまた孫達の目の前で勢いよく「えーい!!」とズボンを下げる。孫達はゲラゲラゲラ〜っと大笑い。

あの日パンツを手にとった時に、一瞬よぎった羞恥心。そんなもの、今の私には無縁。むしろこの孫達の笑顔見ると、パンツを買った自分を誇らしくも思う。

またズボンをサッとあげると、孫たち見せて見せてコール。そして勢いよく「えーい!!」とズボンを下げる。大爆笑。

それを何度も何度も繰り返す。さすがに私も疲れて、「今日はもうひよこさんお昼寝の時間です。おしまーい」っと孫達は「え〜〜もっとおばあちゃんのひよこのパンツ見たかったのに〜」残念そうな姿。

しばらくすると2人でおままごとを始め、仲良く遊んでいた。私もちょっと一息ついていたら、隣の部屋からAちゃんが「おばあちゃんこっち来て〜」と呼ぶ声が。今日はやり気きった気持ちでいっぱい満足な私「な〜に〜?」と上機嫌で隣の部屋へ行くと、扉の裏に隠れてたSくんが私の背後に回り、勢いよく「えーい!!」と私のズボンを下げる。「わ〜いわ〜い!ひよこのパンツだー!」っと2人ともお喜び。2人で遊んでると思ってたら、作戦会議をしていたらしい。「も〜う!もうひよこさんお昼寝するって言ったでしょ〜」とズボンを上げ、Sくんの方を向くと、次はAちゃんが私の背後に回りズボンを「えーい!!」っとさげる。「やったー!やったー!またひよこのパンツ」っと大喜び。「もう〜」っと言いつつ、孫たちの笑顔に大満足。

夜になり、お風呂タイム。脱衣所で、孫達にパンツが見つからないように洗濯機が一番下にパンツを隠して入浴。さすがにここまで奥に押し込んでたら見つからないはず・・・とお風呂に入っていたら、何やら扉ごしに小さな影がチラリ。まさかな〜っと思いつつ、湯船からあがり身体を拭いていると、リビングから「ぎゃ〜がギャギャギャ」っと娘と孫たちの大笑いする声。ハッと洗濯機を覗くと、洗濯機が一番下に押し込んだはずのひよこのパンツが・・・無い!!

あの小さな影は昼間一緒に大騒ぎした孫だった。脱衣所から出るに出れず、お風呂上りで真赤になった私の顔が、もっと真赤になった出来事でした。